

**製品名: E2A ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab10250**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:5000-1:10000

分子量

**抗原情報**

遺伝子名	TCF3 TCF3; BHLHB21; E2A; ITF1; Transcription factor E2-alpha; Class B basic helix-loop-helix
別名	protein 21; bHLHb21; Immunoglobulin enhancer-binding factor E12/E47; Immunoglobulin transcription factor 1; Kappa-E2-binding factor; Transcription facto
遺伝子 ID	6929.0
SwissProt ID	P15923
免疫原	抗血清はヒト E2A 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 321-370

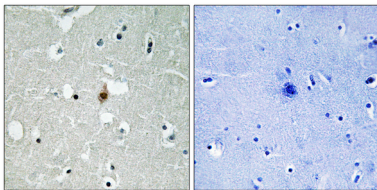
**背景**

この遺伝子は、ヘリックス-ループ-ヘリックス転写因子の E タンパク質 (クラス I) ファミリーのメンバーをコードしています。E タンパク質は、ヘテロ二量体またはホモ二量体として標的遺伝子の調節性 E ボックス配列に結合して転写を活性化し、DNA 結合阻害因子 (クラス IV) ヘリックス-ループ-ヘリックスタンパク質とのヘテロ二量体形成によって阻害されます。E タンパク質はリンパ球新生において重要な役割を果たしており、コードされているタンパク質は B リンパ球および T リンパ球の発達に必要です。この遺伝子の欠失またはコードされているタンパク質の活性低下は、リンパ系悪性腫瘍において役割を果たしている可能性があります。この遺伝子は、前 B 細胞急性リンパ芽球性白血病 (t(1;19)、PBX1 を伴う)、小児白血病 (t(19;19)、TFPT を伴う)、急性白血病 (t(12;19)、ZNF384 を伴う) などのリンパ系悪性腫瘍に関連するいくつかの染色体転座にも関与しています。複数のアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが存在します。疾患: TCF3 に関連する染色体異常は、前 B 細胞性急性リンパ芽球性白血病 (B-ALL) の原因となります。PBX1 との転座 t(1;19)(q23;p13.3)、HLF との転座 t(17;19)(q22;p13.3)、TFPT との逆位 inv(19)(p13;q13)が認められます。機能: TCF3 と組織特異的塩基性ヘリックス・ループ・ヘリックス (bHLH) タンパク質間のヘテロ二量体は、胚発生における組織特異的な細胞運命決定において、例えば筋肉や初期 B 細胞分化などにおいて重要な役割を果たします。二量体は E ボックスモチーフ (5'-CANNTG-3') 上で DNA に結合します。κ 免疫グロブリン遺伝子エンハンサーの κE2 部位に結合する。PTM: NGF 刺激後にリン酸化される。類似性: 1 つの基本ヘリックス・ループ・ヘリックス (bHLH) ドメインを含む。サブユニット: 効率的な DNA 結合には、別の bHLH タンパク質との二量体形成が必要である。ASH1 および TWIST2 とヘテロ二量体を形成する。アイソフォーム E12 は GRIPE および FIGLA と相互作用する (類似性による)。PTF1A および TGFB1I1 と相互作用する。少なくとも CBFA2T3、LDB1、TAL1、および TCF3 から構成される核内 TAL-1 複合体の構成要素である (類似性による)。UBE2I と相互作用する。、

## 研究分野

幹細胞経路; WNT; WNT-T 細胞; β-カテニン; タンパク質アセチル化

## 画像データ



E2A 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。